

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク

(NISE)

NISE(ナイス)：Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

【お問合せ先】 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目1-1
TEL：0993-53-2316 / FAX：0993-53-4519 / E-mail：minami-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

2026

第41週

令和8年
10/5～10/11

加世田管内のインフルエンザについて、定点当たり報告数が流行発生注意報の基準値を超えたため、**流行発生注意報**を発令します。また、ヘルパンギーナについては、流行発生警報の基準値を超えたため、**流行発生警報**を発令します。加世田管内ではインフルエンザに加え、COVID-19の報告数も増加しています。秋を迎え、寒暖差が大きくなり、体調を崩しやすい時期です。外出後は手洗い・うがいを行い、十分な睡眠をとるなど、体調を整えましょう。

1. 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報 基準値	対象	36週	37週	38週	39週	40週	41週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	—	—	—	加世田	41.00	51.00	51.50	27.50	26.50	46.00
				指宿	22.50	29.00	29.50	49.00	38.00	38.00
				県	49.53	55.63	61.28	42.67	55.23	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	0.50	4.00	1.50	4.50	9.50	18.50
				指宿	—	0.50	—	1.50	5.50	2.00
				県	4.35	4.81	6.39	6.82	10.58	11.96
COVID-19	—	—	—	加世田	2.00	—	—	—	—	3.00
				指宿	0.50	—	0.50	0.50	—	0.50
				県	0.61	0.65	0.79	0.44	0.61	0.68
RSウイルス感染症	—	—	—	加世田	2.00	—	1.00	3.00	—	1.00
				指宿	1.00	1.00	—	—	—	—
				県	2.00	1.52	1.29	1.10	1.35	1.06
咽頭結膜熱	3.00	1.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	1.00	1.00	—	2.00	—
				県	0.97	0.81	0.65	0.61	1.00	0.55
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	2.00	—	1.00	—	—
				県	2.39	1.81	1.87	1.03	1.77	1.90
感染性胃腸炎	20.00	12.00	—	加世田	12.00	7.00	14.00	7.00	6.00	7.00
				指宿	6.00	3.00	3.00	2.00	3.00	7.00
				県	3.32	3.87	3.19	2.90	3.10	4.81
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.39	0.16	0.32	0.10	0.19	0.23
手足口病	5.00	2.00	—	加世田	1.00	—	—	—	—	—
				指宿	—	1.00	1.00	1.00	—	1.00
				県	0.61	0.45	0.35	0.16	0.77	0.48
伝染性紅斑	2.00	1.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.10	0.03	—	0.03	0.10	0.03
突発性発しん	—	—	—	加世田	1.00	1.00	—	1.00	—	—
				指宿	1.00	2.00	—	—	—	—
				県	0.42	0.55	0.26	0.48	0.23	0.45
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	—	加世田	1.00	1.00	—	1.00	4.00	6.00
				指宿	1.00	—	1.00	—	1.00	1.00
				県	0.42	0.74	1.06	0.45	0.84	0.94
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	—	0.10	0.03	0.03	—	—

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

2. 警報・注意報の状況

(流行発生警報・注意報の基準値を超えた感染症)

3. 全数報告疾患の発生状況

(管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

警報発令中

加世田：**ヘルパンギーナ**
指宿：なし
県：なし

注意報発令中

加世田：**インフルエンザ**
指宿：なし
県：**インフルエンザ**

第41週 (10/5～10/11)

なし

4. 南薩地域で注目すべき感染症

※人数は定点医からの報告です。全体の患者数ではありませんので、ご注意ください。

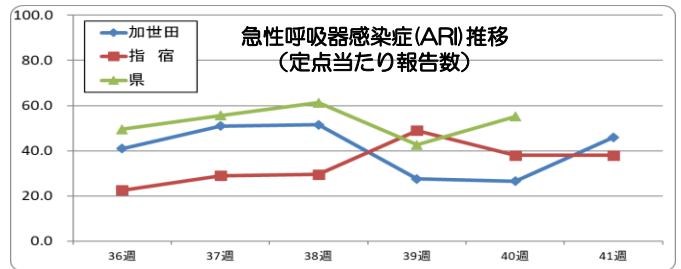


急性呼吸器感染症 (ARI)

第41週の報告数は、加世田保健所管内で92人（定点当たり46.00）でした。

指宿保健所管内では、76人（定点当たり38.00）でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1～4歳（76人）、5～9歳（37人）、10～14歳（16人）の順に多く報告されています。

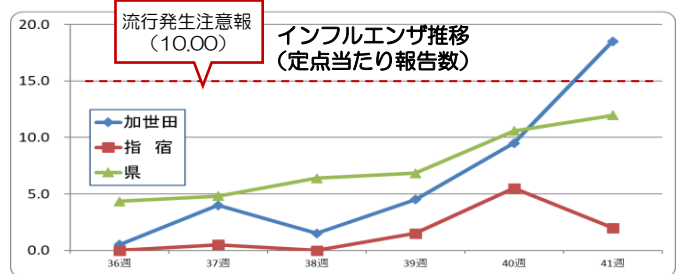


インフルエンザ

第41週の報告数は、加世田保健所管内で37人（定点当たり18.50）でした。

指宿管内では、4人（定点当たり2.00）でした。

県全体では、682人（定点当たり11.96）で、前週より79人増加しました。年齢別では、5～9歳（142人）、1歳～4（129人）、10～14歳（115人）の順に多く報告されています。

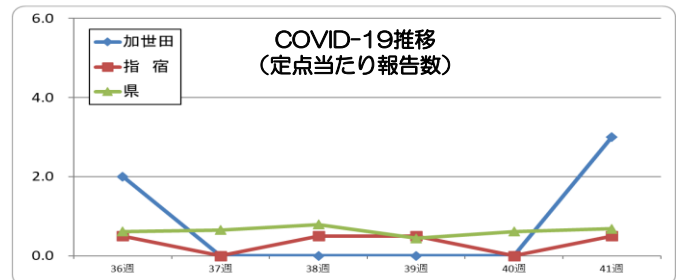


COVID-19

第41週の報告数は、加世田保健所管内で6人（定点当たり3.00）でした。

指宿管内では、1人（定点当たり0.50）でした。

県全体では、39人（定点当たり0.68）でした。



今週の
話題

麻しん・風しんの定期接種を受けましょう - 前編 -

■ 麻しんの概要

麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症であり、主な感染経路は空気感染です。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症します。

麻しんの怖いところは、

- ① 強い感染力に加え、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症する
- ② 合併症として、10万人に1人程度だが、麻しんウイルスに感染後、数年から十数年後に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢性神経疾患を発症することもあるという点です。

■ 風しんの概要

風疹ウイルスによって引き起こされる急性の発しん性感染症であり、主な感染経路は飛沫または接触感染です。症状は、感染症状を示さない不顕性感染から、重篤な合併症併発まで幅広く、特に成人で発症した場合、高熱や発しんが長く続くなど、小児より重症化することがあります。

風しんの怖いところは、

- ① 脳炎や血小板減少性紫斑病を合併するなど、入院加療を要することもある
- ② 風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が風疹ウイルスに感染すると、眼や心臓、耳等に障害を持つ子どもが出生することがある（先天性風しん症候群）、という点です。

■ 麻しん・風しんワクチン（MRワクチン）とは

麻しんは英語で「Measles」、風しんは「Rubella」といいます。それぞれの頭文字を取って、麻しん・風しん混合ワクチンを「MRワクチン」といいます。MRワクチンを接種することによって、95%程度の人が麻しんと風しんに対する免疫を獲得することができます。

また、MRワクチンを2回接種することで、体の免疫の備えができていないと、発症を防いだり、発症したとしても症状が軽く、肺炎や脳炎などの重症化を予防することができます。さらに、周囲への感染を拡げてしまうリスクも下げることができます。



★ 次週はMRワクチンの接種状況やスケジュールなどについて解説します

参考：MRワクチン | 厚生労働省